

- 区分**
- A 中小都市、過疎地など** [人口10万人未満の自治体]
- 高齢者等の通院通所・社会参加支援**
- 他分野による交通事業の活用**
- 観光・まちづくり × 交通**
- 医療・介護・福祉 × 交通**
- 商業・農業 × 交通**

対象地域

- 地域：愛知県常滑市
- 人口：58,710人
- 世帯数：24,566世帯
- 高齢化率：25.4%
- 面積：55.90km²

背景・お困りごと

- 常滑市はクルマ社会のため、高齢化に伴い、**自分で車を運転しなくても移動ができる環境構築が必要**
- 2022年10月から無料のコミュニティバス「グリーン」を運行しているが、**交通空白地や利用者が少ない路線があり、人手不足が深刻な中で地域全体の公共交通網の確保のために改善が急務**
- 令和5年度実証実験の利用状況を踏まえ、乗降場所の追加や利用者の認知度向上の必要があった

実施内容

市内約200か所に設定した乗降場所をジャンボタクシー2台で運行するオンデマンド交通

概要

- モード：AIオンデマンド交通 (道路運送法第21条許可)
- 予約方法：電話・アプリ
- 料金：下表参照

料金	1回利用	おとな：500円、こども：200円
	回数券	6回：2,500円、10回：4,000円
	定期券	1,200円/日、2,000円/10日、5,000円/30日 ※10日、30日は家族プラン(1人1,000円追加)あり



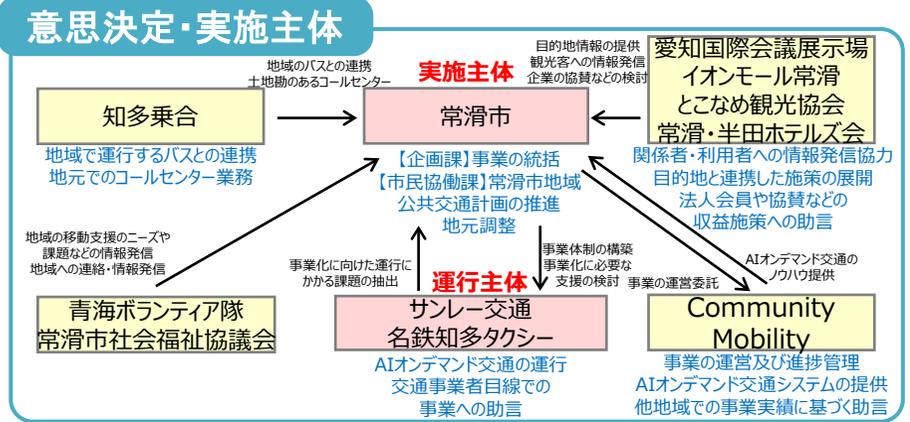
重要ポイント

- R5実証で高齢者は午前～昼に移動することが多いことが分かったため、今年度は**昼休み(0時30分～4時)**を設定し、**運行経費を削減**
- 金土日曜日などは、飲酒を伴う夕食や宴席など**夜間に外出をしたい住民や観光客をターゲットに21時半まで運行**
- **タクシーは地域移動のセーフティネット**であるため、本事業がタクシーに置き換わるのではなく、**市内の移動総量が増えることを丁寧に説明し、理解を得た**

今後の事業展開

<今後の事業展開時の運行における根拠法令(予定)：バス路線の見直しまでは道路運送法第21条許可 其後は検討中>

- 補助事業で構築した地域での運行スキームを活用し、常滑市地域公共交通計画にそって、2025年度以降のバス路線の見直しに合わせたAIオンデマンド交通の導入について、具体的に検討する



運行実績・成果

- 運行期間：2024/10/1～2024/12/31
- 利用者数：930名 (718運行)
- 平均乗合人数：1.30人/1運行

収入	375,500円 (内訳 運賃収入:343,300円、運賃外収入(車内広告等) 32,200円)
支出	23,702,514円 (AIオンデマンド交通システム構築、導入時ドライバー等研修等)
ランニングコスト	13,090,000円 (運行費用、AIオンデマンドシステム利用料、車載用端末リース料・通信費等)
損益	▲36,417,014円 ※Community Mobilityが負担(共創・MaaS実証プロジェクトを活用)

成果

- 回数券16件、乗り放題券(1日券除く) 15件の販売があり、**生活利用の促進効果が確認**できた
- 「交通空白地」の利用者がおり、**ニーズを確認**できた
- 住民説明時に「運転手不足でお金を払ってもバスが走れない時代が来るかも」という**ネガティブな情報もあえて伝える**ことで、取組みに対して**熱量を持ってもらえる**ことがわかった